



生協連会報



2022

10

No.510

<理事会報告>

第2回理事会報告	2
----------------	---

<活動報告>

第1回広報担当者・消費者行政連絡会報告	4
第2回災害対策委員会報告	5
第3回食・消費者委員会報告	7
4都県生協連共催企画 憲法学習会開催報告	9
ウクライナ支援第1回バス見学「お茶しませんか」開催報告	11
第2回地域生協部会報告	12



千葉県生活協同組合連合会

成年年齢引き下げに関する公開講座vol.3

知っていますか？

18歳成年で変わったことと、 若者が陥りやすい消費者被害 ～マルチ商法を例に～

2022年4月から、成年年齢引き下げがスタートしました。

3回目を迎える今回の公開講座では、特に保護者、教員の皆さんを対象に「若者がどうして被害にあうのか」、「身近な大人がどのように助言や支援をすればよいのか」など、若者の消費者被害に多いマルチ商法をテーマに学びます。

～ ご案内 ～

日時	2022年11月 7日(月) 受付：13:00 13:30～16:00
会場	千葉市消費生活センター 3階 研修講義室 (千葉市中央区弁天1丁目25番1号 暮らしのプラザ内)
会費	無料
参加	① 会場参加 40人 (多数の場合は抽選) ② 後日、YouTube配信(人数無制限)
プログラム	13:00 受付開始 13:30 開会挨拶 インタロダクション 13:50 第1部 神戸女子大学心理学部教授 秋山学先生 マルチ商法を例に、消費者被害に巻き込まれやすい若者の心理について、ご説明いただきます。 14:50 休憩 15:00 第2部 (公財)消費者教育支援センター 主任研究員 庄司佳子先生 現在の消費者教育の現状や若者の消費者被害についてお聞きし、被害にあった場合の対応や大人からの支援について、会場の皆さんと一緒に考えます。 15:55 閉会挨拶 16:00 閉会

講師のご紹介

1993年より大阪教育大学、2004年より神戸学院大学心理学部、2022年4月から現職。
主な研究分野は、消費者心理学、社会心理学(消費者行動、悪質商法)



神戸女子大学 教授
秋山学先生



(公財)消費者教育支援センター
主任研究員
庄司佳子先生

1976年4月より、千葉県公立学校教員として勤務し、その後、千葉大学教育学部附属小学校教員、千葉市内小学校校長、千葉市教育センター教育相談員、千葉市消費生活センター消費者教育コーディネーターを経て現職。千葉大学・淑徳大学で非常勤講師兼務。
小学校家庭科、中学校技術・家庭科(家庭分野)における消費者教育の在り方について研究をすすめ消費者教育の実践に携わっている。

千葉市消費生活センター 3階 研修講義室

(千葉市中央区弁天1丁目25番1号
暮らしのプラザ内)

電話 043-207-3602

shohi.CIL@city.chiba.lg.jp

アクセス：JR千葉駅より徒歩7分



●地図はQRコードから

共催 千葉県生活協同組合連合会 千葉市 千葉県高等学校PTA連合会 千葉県学校生活協同組合
千葉大学生協同組合 東邦大学消費生活協同組合 千葉商科大学生活協同組合
適格消費者団体 特定非営利活動法人消費者市民サポートちば
後援 千葉県高等学校長協会 淑徳大学 ※令和4年度千葉県消費者団体ネットワーク強化・活性化事業

参加お申し込み

下記のURL、QRコードで
入力フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/DTWyF7LBkBASf4UVA>

もしくは、千葉県生協連の
ホームページからお申し込みください。

申込受付期間：10月30日(日)まで
11月2日までに結果をメールで連絡します。



お問い合わせ先はこちら

千葉県生活協同組合連合会

〒260-0013
千葉県千葉市中央区中央4-13-10 千葉県教育会館5階
TEL 043-224-7753 FAX 043-225-3459

<http://www.chiba-kenren.jp/>

千葉県生協連 でクリック

千葉県生協連の主な活動予定 2022.10～2022.12

10月			11月			12月		
日	曜		日	曜		日	曜	
1	土		1	火	MCA無線通信訓練/「子どもたちに 平和な未来を2023」第1回実行委 員会	1	木	第7回フードバンクと千葉県 内生協連携キャンペーン実行 委員会/MCA無線通信訓練
2	日		2	水		2	金	ウクライナ支援「お茶し ませんか」第6回幹事会
3	月	MCA無線通信訓練	3	木		3	土	
4	火	消団連福島第一原発見学	4	金	ウクライナ支援「お茶しませ んか」第5回幹事会	4	日	
5	水	第3回地域・まちづくり委 員会	5	土		5	月	
6	木		6	日		6	火	貧困問題学習会
7	金	ウクライナ支援「お茶し ませんか」第4回幹事会	7	月	成年年齢引き下げ公開学習会	7	水	
8	土		8	火		8	木	
9	日		9	水		9	金	
10	月		10	木	サポちば理事会	10	土	
11	火		11	金		11	日	
12	水	職域生協部会	12	土		12	月	第5回食・消費者委員会
13	木		13	日		13	火	
14	金		14	月		14	水	協同組合提携女性交流会
15	土		15	火	消団連代表幹事会	15	木	
16	日		16	水		16	金	
17	月		17	木	第3回理事会	17	土	
18	火		18	金	第2回福祉・たすけあい事業部 会	18	日	ウクライナ支援第4回茶 話会「お茶しませんか」
19	水	政策検討会	19	土		19	月	
20	木		20	日		20	火	
21	金		21	月	第4回食・消費者委員会	21	水	
22	土	エコメッセちば	22	火		22	木	
23	日	エコメッセちば	23	水		23	金	
24	月		24	木		24	土	
25	火	監事会	25	金		25	日	
26	水		26	土	ウクライナ支援第3回茶話会 「お茶しませんか」	26	月	
27	木		27	日		27	火	
28	金	関東甲信越行政生協関係 者連絡会	28	月		28	水	
29	土	ウクライナ支援第2回茶 話会「お茶しませんか」	29	火		29	木	
30	日		30	水		30	金	
31	月					31	土	

千葉県生活協同組合連合会 2022 年度 第 2 回理事会報告

- 【開催日時】 2022 年 9 月 15 日（木） 14：00～15：15
【開催場所】 千葉県生協連会議室およびウェブ会議システムを使用
【出席者】 理事 12 名中 11 名出席、監事 3 名中 3 名出席、陪席 1 名、事務局 2 名

定刻になり、渡邊会長理事より、7 月 21 日パルグリーンファームでの千葉県との懇談会と理事会での開催に対してお礼がありました。コロナ禍の状況下で事業活動を進めるにあたり、地域の状況把握は欠かせないが、昨年よりは実開催を増やし、交流の持てる場をつくっていききたいと挨拶がありました。

続いて、本日の出欠状況について報告がされ、本理事会の定数を満たし成立していることを確認し、理事会規則第 7 条により会長理事を議長とすることを確認した上で議事に入りました。

<協議事項>

1. 2022 年度 上期振り返りと下期計画について（案）

2022 年度上期取り組みの振り返りと下期計画について提案があり協議をおこないました。提案の内容について全員異議なく確認されました。

2. 令和 5 年度 千葉県への政策制度の要請事項について

千葉県労働者福祉協議会が千葉県へ要請書を提出する上で生協連からも要請事項についての提案があり、協議を行いました。提案事項に対する意見は 9 月 21 日までに事務局へ連絡をいただくことを確認しました。

<報告事項>

1. 個別報告

上山専務理事より、以下の（１）～（７）に関する報告があり、確認されました。

（１）2022 年度千葉県生協連 政策検討会の開催について

グループワークのテーマ設定について質問や意見があり上山専務が応答しました。

（２）令和 4 年度（2022 年度）千葉大学公開寄附講座開催報告

今回講座を担当した 3 生協より感想が述べられました。

（３）成年年齢引き下げに伴う学習会の開催について

（４）貧困問題に関する学習会の開催について

- (5) 千葉県生協連ホームページの改修について
- (6) 第36回千葉県労働者チャリティゴルフ大会への後援について
- (7) 内閣総理大臣認定 適格消費者団体 特定非営利法人消費者市民サポートちばの活動状況について (2022年8月度時点)

2. 活動報告

前回理事会以降から第2回理事会までの活動と課題の進捗状況について報告がありました。

佐々木博子理事より「子どもたちに平和な未来を2022」、岩崎理事より第1回茶話会「お茶しませんか」についてそれぞれ感想と報告がありました。

3. 日本生協連関係報告

特にありませんでした。

4. 会員生協関係報告

【情報共有】

有吉監事より、新聞報道がされた賞味期限を延長した食材を使って提供したメニューについて報告説明がありました。

<文書報告>

- 1. 【情報共有】生活協同組合連合会大学生協事業連合より
- 2. 消費者市民サポートちば「消費者問題学習会」案内チラシ
- 3. 2022年度 千葉県生協連活動ロードマップ

2022 年度第 1 回広報担当者・消費者行政連絡会報告



1. 日 時：2021 年 9 月 8 日（水）10：00～11：20
2. 開催方法：Zoom を活用した Web 会議
3. 出席：諏訪、岡（千葉県環境生活部くらし安全推進課消費者安全推進室）、田口（千葉県環境生活部くらし安全推進課防犯対策推進室）、杓名（千葉県環境生活部くらし安全推進課交通安全対策室）、小林（パルシステム千葉）、鈴木（コープみらい）、伊藤、大和田（なのはな生協）、川井（千葉県庁生協）、上山、佐久間、竹内（千葉県生協連）
※敬称略

4. 概 要

9 月 7 日（水）、Zoom を活用したオンライン会議として 2022 年度第 1 回広報担当者・消費者行政連絡会を開催し、千葉県環境生活部くらし安全推進課、千葉県消費者センター、4 会員生協の広報担当者、県連事務局合わせて 12 名が参加しました。

消費者行政連絡会は広報を中心に千葉県行政と県内生協が連携して、安心して暮らせる地域づくりを目指した取り組みの具体化を進めることを目的としています。

今回は 2023 年度の千葉県の広報計画から次年度に 6 生協が協力して取り組む広報についての共有と、12 月～1 月にかけて行う、「飲酒運転を中心とした冬の交通安全啓発」の広報について確認しました。

5. 内 容

千葉県くらし安全推進課より、2023 年度広報スケジュールについて、会員生協からは、表題を統一して行った「成年年齢引き下げに伴う消費者トラブル」の広報掲載事例の報告がありました。

今後の掲載については下期の「飲酒運転を中心とした冬の交通安全啓発」の広報について、掲載時期や、6 生協で共通する表題の確認などを行いました。また次年度は 2023 年 5 月頃に「消費者被害について」、12 月～1 月にかけて「冬の交通安全啓発」について広報を行うことを確認しました。広報媒体に余裕がある場合は他の啓発内容について、千葉県の担当者と確認しながら各生協が独自で掲載することとしました。次回は 2022 年 2 月 21 日 10 時～の開催を予定しています。

各生協の
広報紙面



パルシステム千葉



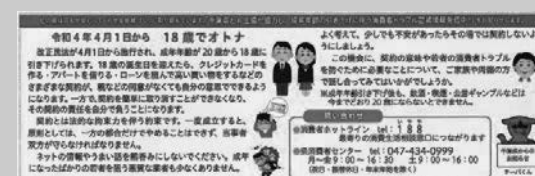
なのはな生協



コープみらい



千葉県庁生協



生活クラブ千葉



千葉県生協連

2022 年度第2回災害対策委員会報告



(日本赤十字社千葉県支部と千葉県連災害対策委員会との懇談会)

日 時 2022 年 9 月 7 日 (水曜日) 14:00～16:00
場 所 日本赤十字社千葉県支部 4 階会議室
出 席 高橋事業部長兼救護福祉課長・木島係長・伊藤主事 (日本赤十字社千葉県支部)、古橋 (パルシステム千葉)、西村 (コープデリ連合会)、地引 (生活クラブ生協) 河田 (コープみらい)、藤本 (千葉県学校生協)、篠崎 (こくみん共済 coop)、野澤 (ちば住宅コープ)、水島 (災害対策アドバイザー)、柳下 (日生協中央地連)、若林・松尾 (中央労金)、上山専務理事・佐久間事務局長・白井 (千葉県生協連)

内 容

(1) 挨拶

初めに、日本赤十字社 千葉県支部 高橋事業部長より、コロナ感染症の収束も見えぬまま、各地で自然災害が多発していますが、さまざまな災害に対してみんなで連携しあいながら日本赤十字社としても活動を展開していきたいとあいさつがありました。続いて、千葉県生協連上山専務より、近年考えにくい被害状況の災害が起こっていますが、どんな災害にも迅速に対応できるような備えと日本赤十字社、各生協、行政、他団体と連携をすすめていきたいとあいさつがありました。

(2) 日本赤十字社千葉県支部の活動報告

①令和3年度における日本赤十字社千葉県支部の活動について

↓報告者 木島係長

新型コロナウイルス感染症禍における医療救護や大規模災害に備え、医療救護班の災害対応能力強化の研修・訓練を実施しています。また、地域住民が自ら命を守るよう防災減災に関する「赤十字防災セミナー」を開催しています。他にも超少子高齢化社会への対応、障がい者へのサポートなど様々な活動に取り組んでいます。



②日本赤十字社の災害救護活動について

災害が起こった時の被害状況の把握から災害救護体制、救護員等の主な活動、救援物資の配布、赤十字ボランティアの活動、義援金の受付など日本赤十字社の活動について詳しく説明がありました。

(3) 質疑および懇談

第1次救護体制と第2次救護体制の基準について、「赤十字防災セミナー」について、事業の継続・中止の判断等、活発な質疑懇談がされ、災害が発生した時に連携が取れる関係性の継続について再確認しました。

(4) 各生協・関係団体からの報告

各生協・関係団体からは①～③についてそれぞれ報告がありました。

① コロナ感染症への対応

- ・ 基本的な感染対策の徹底（手洗い、マスク着用、アルコール消毒）
- ・ 勤務、業務体制（在宅勤務、分散勤務、時差出勤、休業補償）
- ・ 換気、黙食（二酸化炭素測定器の使用）
- ・ 陽性者と濃厚接触者への対応

② 台風など今後の災害に対する備え

- ・ 備品、備蓄の整備（簡易トイレ、発電機等 使い方も含めて）
- ・ 無線、衛星電話、安否システム等の訓練
- ・ BCP の作成と共有、非常災害時の動員計画の策定
- ・ 職員の防災士資格の取得

③ 日本赤十字社千葉県支部に質問したいこと

日本赤十字社千葉県支部と一緒にできること

- ・ 障害者、高齢者の災害時避難について出張授業をしてもらえますか？
- ・ 災害対応全般について、一緒に学べる場がありますか。（組合員も一緒に）
- ・ 住宅に係ることで何か具体的な活動をしていることはありますか。
- ・ 協同した防災、減災の啓発活動などと一緒にできると思います。

※ 日本生協連中央地連からは、2022 年度第 1 回中央地連大規模災害対策協議会の報告がありました。

※ 千葉県生協連からは、第 43 回九都県市合同防災訓練の物資輸送訓練報告と千葉県会場の訓練概要について説明がありました。



(5) 日本赤十字社千葉県支部の救護倉庫の見学



千葉県支部と同じ敷地内に
救護倉庫の見学をしました。



被災地で一刻も早く診療が開始できるための dERU（国内型緊急対応ユニット）も保管されています



自分たちの備蓄について改めて見直しを考えました。

2022年度第3回食・消費者委員会報告

12 つくば市農業
推進課

日 時：2022年9月12日（月）14：00～16：00

開催会場：千葉県生協連会議室（Zoomによるオンライン会議）

出席者：藤・熊谷（パルシステム千葉）、林（コープみらい）、
（敬称略） 並木・中井（生活クラブ生協）、
小林（日本生協連）、上山・佐久間・依光（県生協連）



内 容：

今回は千葉県から講師をお招きし、2021年5月に国が決定した「みどりの食料システム戦略」と2022年4月に策定した「みどりの食料システム法」及び千葉県が現在進めている環境保全型農業についてご説明いただきました。委員のほか会員生協の役職員も参加し、講師、事務局を合わせ19人の参加となりました。

演題 「みどりの食料システム戦略」と千葉県内の取り組みについて

講師：千葉県農林水産部安全農業推進課

環境農業推進室 室長 嶋野清隆さん（写真右）

：千葉県農林水産部農林水産政策課 副主査 小林陽介さん（左）



初めに、講師から「県庁農林水産部は食料の安定供給とそのための農業振興、また農村の多面的機能保全の施策をおこなう部署」との紹介がありました。

「みどりの食料システム戦略」の概要

食料の生産力向上と環境負荷の減少（持続性）をイノベーションで実現していくことを目的にしたもの。2050年までの目標（CO2ゼロエミッション化、化学農薬の使用量（リスク換算）50%低減、化学肥料の使用量30%低減、有機農業の取り組み面積の拡大（100万ha）など）を設定している。目標達成のためには生産だけでなく、調達、加工・流通、消費の中で一貫して取り組むこととし、消費部門として持続性重視の消費、有機食品の消費拡大、地産地消の推進が挙げられている。達成の前提は2040年までに次世代有機農業技術を確立することだが、合わせて市場の創出も必要になるため。

「みどりの食料システム戦略推進総合対策」について

「みどりの食料システム戦略推進交付金」として地域のビジョン・計画策定や人材育成、モデル的先進地区の創出に予算がつけられている。そのうち「有機農業産地づくり推進」として市町村主導の事業には、現在、県では木更津市と佐倉市が取り組んでいる。有機農業の広がりをつくるため、地域の中で生産者と消費者が協力しながら進めている。

「みどりの食料システム法」の概要

農林水産業にかかる環境負荷の低減につながる取り組みを促進する法律。農林漁業者は環境負荷の低減への事業計画を、地方自治体が基本計画を策定する。消費者には環境負荷低減に配慮する農林水産物などの選択が努力義務とされ、国には地球環境を守る「きっかけ」にしてほしいとの思いがある。

千葉県における環境に配慮した農業の取り組みについて

現在、県の農林水産部局の最上位計画である「千葉県農林水産業振興計画」（令和4年～令和7年）において、環境に配慮した農業の推進が計画されている。平成14年から「ちばエコ農産物」の承認事業も始めており、いすみ市での有機米の学校給食への導入やナス栽培での天敵導入による害虫駆除などの取り組みが進んでいる。

終了後は、質疑応答をおこないました。参加者からは「有機農業での耕作放棄地の活用」、「小規模農家のスマート農業の利活用」、「消費者の努力義務についての対応」など、多岐に渡って質問や提案、感想などが出されました。



【委員会】

1. 各生協からの報告

○生活クラブ生協

- ・生活クラブ虹と風のファームの八街圃場にて「トマトの学校」を開催。4月に定植した加工用トマトの収穫を7/9（土）・16（土）におこない、23組81名の参加がありました。
- ・生活クラブ千葉の食アドバイザーとして「ビオサポ（食べ物半分食べ方半分という考え方）」を伝える「ビオサポマイスター」を養成する「ビオサポマイスター養成講座」を6月より開催しています。基礎講座などで栄養の事などを学び、8月はビオサポラボとして着色料の実験を行いました。

○なのはな生協

- ・ゲノム編集トマト苗を小学校で受け取らないよう、千葉県と配達地域の東京都の自治体、合わせて60か所に要請した回答ですが、約40か所が6月末期限までに返答がなかったため、電話がけをしました。
- ・組合員活動では、オンラインでの生産者交流会や、夏休みには親子向けに「手作り餃子教室」「ウクライナの現状とユニセフの取り組み」などを開催しました。予定していた長崎訪問はコロナの拡大により中止としました。

○パルシステム千葉

- ・パルシステムのつどいを7月に19回開催し、大人154人・子ども29人が参加しました。
- ・PLA（パルシステム・ライフ・アシスタント）活動として、オンラインでの手打ちうどん企画、会場での牛乳パックリサイクル、親子防災、ハーブ石鹸企画をおこないました。
- ・親子平和企画「明子さんの被曝ピアノ～奏でる平和の調べ～」を8/6（土）にオンライン開催、地域連携企画「SDGsと消費・労働者に関する学習会 民法改正に伴う成年年齢引き下げをめぐる問題」を8/27（土）に開催しました。

○コープみらい

- ・日本のお米を食べて応援する取り組みとして「ごはんのおとも勝手に総選挙」を組合員、職員を対象に実施します。15品目から投票を事業と活動で連携して盛り上げていきます。
- ・今年度のフードドライブキャンペーンでは9～11月に八街、君津、佐倉、成田センターのコミュニティハウスに食品回収ボックスを設置し、寄贈された食品は各社会福祉協議会へ提供します。

□ 第4回食・消費者委員会 次回開催 11月21日(月)14時～16時予定

第6次エネルギー基本計画とカーボンニュートラルに向けた千葉県の取り組み 以上

📖 守りたい！私たちの暮らしと平和 📖 ～今こそ考えよう 世界のこと 日本のこと～

昨年のジェンダー学習会に続き、今年も4つの都県生協連による共催で学習会を開催しました。

戦争、感染症、エネルギー・気候問題・・・世界では暮らしと平和をめぐる多くの問題が起こっており、日本においても物価上昇、貧困格差、そして災害の多発により社会や生活の不安が広がっています。そのような中「今こそ改憲して社会不安や課題を解決すべき」という意見も聞こえます。あらためて国や国民のあり方を示す「日本国憲法」を読み解き、どうしたら「私たちの暮らし」「私たちの平和」が守られるのかを皆さんと一緒に考える学習会として、谷口真由美さんを講師に開催しました。



日時:2022年9月17日(土) 14:00～16:00
方法:オンライン(Zoom / YouTube ライブ配信/アーカイブ配信)
講師:谷口 真由美さん(法学者・大阪芸術大学客員准教授)
参加:Zoom 33人、YouTube 視聴(アーカイブ視聴含む):151人
合計 184人
共催:千葉県生活協同組合連合会 埼玉県生活協同組合連合会
東京都生活協同組合連合会 神奈川県生活協同組合連合会

14:00 開会、谷口先生講演
15:20 感想交流
15:35 全体交流、谷口先生講評
16:00 閉会



挨拶：庭野文雄専務理事

主催者挨拶：神奈川県生協連 庭野文雄専務理事

ロシアのウクライナ侵攻を機に日本でも軍備の拡大や憲法改正を求める声や動きが強くなっています。また貧困や格差の広がりや、ジェンダーの格差も含め解決が求められる問題が山積みになっています。日本国憲法をあらためて読み解き、私たちが日々の暮らしと平和を守るためにどのように考え行動したらいいか、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。憲法は難しいというイメージがあり、その大切さが伝わらないことも多いことから、どうしたら理解が広がるのかも学びたいと思います。

谷口先生からの3つの質問

憲法の話をする際に3つの質問を投げかけています。

「憲法は何条までありますか?」、「推し※ 条文ってどれですか?」、「憲法を守らなければならないのは誰ですか?」の3つです。この質問をすると、「あっ、ヤバい!」みたいな反応をする方も少なくないんです。

憲法は103条まであり、実質的な条文は99条までです。だいたい結構ですので何条まであるかは知っておいてほしいです。

「推しの条文は?」と問うと、多くの方が「9条!」と返ってくるのですが、「じゃあ、9条以外は?」と聞くと、答えに詰まる方も多いです。憲法は日本という国の一番根本となる法なので、9条以外にも知っておいて欲しいですね。ちなみに、私の推し条文は「誰が憲法を守るのか?」が書かれている99条です。憲法を守らなければならないのは、私たちではなく、権力を持っている人たちです。

※他の人にすすめること。人にすすめたいほど気に入っている人や物。(デジタル大辞泉)



講師：谷口真由美さん

身近なところで憲法を勉強する際、どうことをやればいいのかというヒントになってほしいです。

我々は守るのではなく、守らせる方です



大阪のおばちゃん目線で鋭くつこみ、誰にでも分かりやすく解説してくださいました。

権力者が暴走しないように憲法による政治にさせる。これが立憲主義です。

憲法 99 条によれば、憲法を守らなければならない義務があるのは、「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他公務員」という権力者です。「憲法を守ろう！」という方がいますが、我々は守るのではなく、守らせる方なのです。

我々の役割は憲法 12 条に記載されています。「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」。権力は暴走しますので、自由と権利を奪われないよう不断（普段）から努力をしなければならないと記されています。憲法が気になるときは、「国がややこしくなっているとき」ですので、「不断（普段）」の努力が特に必要な時です

知憲…憲法を「一人称」で読んでみましょう

「日本国民は…」を「私は…」と読みかえてみる。

憲法は主権者として主体的に国民が行動することを求めています。そこで大事ななのは「意味がわかる」ことです。まずは前文の主語を「一人称（私は）」に置き換えて読んでみましょう。このように置き換えて読むと、書かれていることがグッと身近に感じます。憲法の前文を理解し、条文を全部読んでみてほしいです。改憲、護憲の前に、「知憲」が大切です。

しつこく声を上げ続けましょう

当事者は声を上げ続けるのがしんどいのです。

一般的に世間の関心が続くのは 3 か月といわれます。実際にウクライナ問題の報道も少なくなってきました。関心のあること、必要なことに対してしつこく声を上げ続けることが大切です。平和や人権、権力者の言動に問題意識を持つ面倒くさい主権者になってほしいと思います。民主主義は面倒くさいものです。

参加者された皆さまからの感想

- ・ 憲法と聞くと、とにかく複雑で難しいという印象を持っていましたが、実はシンプルで自分たちの暮らしに密接な関係があることが分かりました。
- ・ 改めて日本国憲法の崇高さを理解できました。
- ・ 知憲に向けての行動が起こせそう。
- ・ 憲法は誰が守るのか、国民は何をすることを前提としているのかが理解できた。
- ・ 憲法前文が解りやすく解説され、憲法がより身近なものとなった。
- ・ 改憲論議の前に憲法を学ぶことが大切だというメッセージが印象に残った。
- ・ 知ると責任が出てくる。知って広げていくという責任が出てきた。



司会：大田敬子さん
(東京都生協連)

とつきにくい憲法でも分かりやすく解説いただき、私たちらしく言い続けることの大切さを教えていただきました。
たくさんのご感想ありがとうございました。

谷口先生からのメッセージ

今、波風立てない「いいひと」が増えすぎています。「おかしい」ことを「おかしい」といってもいいのです。民主主義は多数決の論理ではなく、いかに少数者の意見を反映できるかということなのです。無関心が最大の敵であり、知ってしまったからには伝え方がオールドファッションだといわれても、自分の伝え方、自分のスタイルでいいのです。

今、様々な社会運動をされている人の平均年齢が 1 歳ずつ上がっています。つまりやっている人が変わらない状況なのですが、生協には若い組合員がたくさんいます。そして生協の仕組み、発信のツールがあるのは素晴らしいと思います。生協は若者の言葉で言うと「太い！」。「食」や「暮らし」を通じた活動に敬意を表します。

第1回バス見学「お茶しませんか」開催報告



開催日時：2022年9月25日（日）9：00 集合場所出発 ～ 17：15 到着
目的地：勝浦市鵜原地区（勝浦市海中公園、清海学園）
参加人数：37名（スタッフ含む）

9月25日（日）にお茶しませんかプロジェクトの第1回バス見学を実施しました。当日は天候にも恵まれ、参加された方はリラックスをして楽しんでいる様子が伺えました。当日の行程は千葉駅周辺を出発し、勝浦市海中公園で魚が泳いでいる海中を見学、その後、清海学園でバーベキューを楽しみ楽しみました。

食後の自由時間で近くの鵜原海岸で遊んでいる姿もありました。今回のバス見学が、ウクライナから避難されてきた方にとって、日常から離れた良い思い出になることをスタッフ一同願い終了しました。



バーベキューの様子



勝浦海中公園での様子

参加者アンケートより

- ・皆と話せて嬉しかった。美しい景色を見られてよかった。時間が足りなく感じました。
- ・今日はとても楽しかった。このようなイベントを私たちのためにしていただいて、心から感謝しています。海や海の下の博物館はとてもきれいで面白かった。バーベキューも美味しかった。とてもとてもありがとう。
- ・あなた方のおかげでウクライナでの戦争の事を忘れられました。日本政府と日本の全ての人々に感謝します。
- ・ファンタスティック！とても美しかった。美味しかった。

2022 年度第 2 回地域生協部会開催報告



1. 日 時 2022 年 9 月 29 日（木曜日） 15：00～16：30

2. 開催方法 Zoom を活用した Web 会議

3. 出 席

なのはな生協（岩崎専務理事）、パルシステム千葉（新村専務理事）、コープみらい（首藤常務執行役員 千葉県本部長）、生活クラブ生協（塙専務理事）、事務局（上山専務理事・佐久間）
欠席 常総生協（伊藤専務理事）

4. 議題及び議事の概要

（1）会員生協交流

- ① 各会員生協より 2022 年 8 月度までの事業の報告と当面の課題について報告され、会員相互に意見交換をおこないました。

（2）その他

- ① 塙専務より、ゲノム編集トマト苗小学校無料配布計画に対する生活クラブ千葉の対応について報告され、意見交換をおこないました。
- ② 千葉県生協連より 9 月 25 日に実施したウクライナ支援バス見学「お茶しませんか」について開催報告がありました。
- ③ 事務局より次回地域生協部会の日程案が提案されましたが、都合が合わない方がいたため、後日、日程調整をおこなうことを確認しました。



当日の様子

千葉県生活協同組合連合会会員一覧

生活協同組合コープみらい	千葉県本部所在地 千葉市中央区新田町 36-15 HP アドレス https://mirai.coopnet.or.jp/
生活協同組合パルシステム千葉	所在地：船橋市本町 2-1-1 船橋スクエア 21 4F HP アドレス https://www.palsystem-chiba.coop/
生活クラブ生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス https://chiba.seikatsuclub.coop/
なのはな生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区長沼原町 678-2 HP アドレス https://nanohana-coop.net/
千葉県庁生活協同組合	所在地：千葉市中央区市場町 1-1 HP アドレス http://www.chibakenseikyo.or.jp/
千葉大学生生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区弥生町 1-33 HP アドレス http://www.univcoop.jp/chiba-u/
東邦大学消費生活協同組合	所在地：船橋市三山 2-2-1 HP アドレス https://www.univcoop.jp/toho/
千葉商科大学生生活協同組合	所在地：市川市国府台 1-3-1 HP アドレス http://www.univcoop.jp/cuc/
千葉県学校生活協同組合	所在地：千葉市中央区中央 4-13-10 千葉県教育会館新館 6F HP アドレス https://www.jcgsk.com/
生活協同組合ちば住宅コープ	所在地：船橋市前原西 2-12-7 津田沼第一生命ビルディング 6F HP アドレス http://www.cjcoop.or.jp/
千葉県高齢者生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス http://chiba-koureikyou.sakura.ne.jp/
千葉県勤労者共済生活協同組合	所在地：千葉市中央区弁天 1-17-1 HP アドレス http://www.zenrosai.coop/
〈準会員〉東都生活協同組合	所在地：東京都世田谷区船橋 5-28-6 吉崎ビル 4 F HP アドレス http://www.tohto-coop.or.jp/
〈準会員〉常総生活協同組合	所在地：茨城県守谷市本町 281 HP アドレス https://www.coop-joso.jp/



千葉県生活協同組合連合会

千葉市中央区中央 4-13-10 (千葉県教育会館 5F)

tel. 043-224-7753 fax. 043-225-3459

<http://chiba-kenren.jp/>